

市議会議員小池みよ子の

ひたすら鹿嶋のために

# 活動報告

Vol.5

小池みよ子  
後援会会報 vol.5

【発行】

小池みよ子後援会

〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2

T E L 0299-83-5252

携帯電話: 090-1690-0136

## 所属委員会

総務企画委員会 委員長／議会運営委員会／広報委員会

## 議会報告

平成24年度3月市議会 一般質問

## 議員として、私の思いを込めた一般質問です。

24年度がスタートして早2ヶ月が過ぎました。議員活動も3年目に入り、5回目の一般質問の機会を与えていただきました。その都度、市民目線から様々な問題を取り上げ訴えてきました。全ての訴えが通ることはかたがたありませんが、横断歩道の設置の問題、平井小の避難路の拡幅の問題、敬老会の参加年齢の引き上げの問題など、一つ一つが形になって見えて来ることにやりがいを感じています。6月議会では、6月13日10:00から一般質問を予定しています。

これからも常に問題意識を持って発言、活動していきます。北浦の水質浄化の問題、公共交通体系の問題、平井東部土地区画整理事業の問題等、真摯に取り組んで行く覚悟です。皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。

## 質問 1、環境問題について

### Q<sub>1</sub> 北浦の水の浄化対策について・・・具体的な対策は？

北浦、霞ヶ浦は、その汚さではワースト1,2という不名誉な記録を続けています。測定する場所や時間によっては多少の動きはあるようですが、汚いことには間違いはありません。市民の飲み水です。このままで良いのでしょうか。

5市で協調して水質浄化に努めていくとの市長の答弁がありました。具体的にどのような対策をとって、かつ実行してきたのが、\*CODの目標数値などもあったらお聞かせ願いたいと思います。

(\*CODとは、水質汚濁の指標の一つ。この数値が大きい程汚濁の程度が大きい)

### A<sub>1</sub> 北浦の水質浄化について・・・国、県に陳情、要望

これまで流域21市町村長で構成する霞ヶ浦問題協議会において、国及び県に対する陳情、要望活動や水質浄化の啓発活動、環境学習の推進、調査、研究など、北浦を含む霞ヶ浦等の環境保全事業の推進を図ってきております。昨年11月には政府与党、12月には国土交通省に対し、北浦の水質改善対策の必要性を訴え、北浦における浄化対策の重点化及び予算確保を求めるとともに、その具体策について要望してきております。

### Q<sub>2</sub> これからの浄化対策について

国、県、そして、近隣5市との共同歩調の必要性は？

### A<sub>2</sub> 奈良毛地区に約4,000平米の葦の水生植物帯を造成予定

第6期目の霞ヶ浦に係わる湖沼水質保全計画が策定時期を迎えたことなどから、北浦の水質浄化に特化した取り組みの必要性を強く感じており、こうした中、私が呼びかけ人となり、北浦流域市長との意見交換の中で、北浦の水質浄化に向けての課題の共有化が図られ、流域5市で国などに対する要望活動を行っており、CODの目標値は平成27年度において7.6となっております。茨城県が来年度にかけて奈良毛地区に約4,000平米の葦による水生植物帯の造成を予定しています。

### Q<sub>3</sub> 放射能対策について・・・し尿処理堆肥の配布を中止しているが

高い地域の除染の必要性と具体的方法、そして、し尿処理堆肥の最終処理方法について。

### A<sub>3</sub> 数値が高いので当面中止して保管しています

放射能は、市内のどこにどれだけの放射線量があるのが調査し、国の定めた0.23マイクロシーベルト、年間1ミリシーベルト以下を目標に除染計画の策定を進めております。除染方法は、環境省の定めた除染関係ガイドラインに準じた対応が求められることとなります。なお、除染方法としては、覆土、ふき取り、攪拌の工法がガイドラインに示されております。

汚泥再生処理施設で製造された堆肥を示す単位はベクレル、つまり放射能の強さの単位となります。結果数値が高くなるほど取扱いに注意する必要があり、国は8,000ベクレルを超えたものに関しては施設保管とし、移動制限を受ける事となります。農林水産省の定めた堆肥の暫定許容値は400ベクレルとなっており、許容値を超えたもの、下回ったものがありますが、当面配布を中止しております。配布できない堆肥の処理については、環境省の定めた放射性物質汚染対処特措法に基づく特定一般廃棄物、特定産業廃棄物のガイドラインにより対応する考えです。具体的には、保管を継続し、適切な処理方法を再検討します。今後は、定期的に分析を行い、その結果によって配布できるかどうか判断をしたいと考えております。

愛犬エルは  
ダイエット中。  
私は？



## 質問2、福祉(高齢者福祉)問題について…特に徘徊高齢者への対応は

### Q1 福祉情報のより積極的な周知徹底について

余りにも情報が多くて周知徹底がし切れないというのは分かりますが、高齢者一人ひとりに必要な、そして的確な情報を伝えるべきと考えます。そして、私の質問で多くの方がそんなサービスがあったのかと思っていただきたいとこの問題を取り上げました。徘徊高齢者へ対応するための福祉情報も今までの対応とこれからの対応をお聞かせ下さい。

### A1 福祉情報の提供について・・・必要な人へ必要な情報が提供できるように周知を図ります

ひとり暮らしの高齢者の見守り活動を行っている地域福祉推進員による福祉サービスの説明、窓口や電話での相談、FMがしまや市ホームページでの紹介、民生委員への情報提供など、地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携し日ごろから福祉サービスや介護保険制度の情報提供に努めているところでございます。徘徊高齢者への対応をするための福祉情報のより積極的な周知徹底についてであります。徘徊高齢者探知システムは、認知高齢者にGPS機能のついた専用端末機を身につけていただき、いち早く高齢者の位置を確認するシステムで、ご家族などから介護保険の申請や介護に関して相談をされたときに、在宅福祉サービスの中の一つとして説明させていただいております。これからも在宅で認知症による徘徊行動をとる高齢者の介護をされているご家族の不安や負担を解消する手助けとなれるよう、引き続き市内のケアマネジャーや民生委員、地域福祉委員等関係機関と連携を取り、家族介護支援サービスである**徘徊高齢者探知システム**の周知を図ってまいります。

(※月525円の負担でご利用できます。詳しくは介護長寿課へ)

### Q2 ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯へのゴミ戸別収集の必要性について

介護保険を使い、ヘルパーさんにわざわざゴミを運んでもらうお年寄りを何人もみております。ゴミ出しは、お年寄りにとって切実な日常の問題なのです。他の自治体でも戸別回収が始まっています。戸別回収で10%のゴミ削減が図られたということで、ゴミの減量化にも大変な効果があるとも聞いております。お年寄りや障がいを持つ人にとって、うれしい施策となることと思われま。介護保険に該当する世帯、ひとり暮らしの世帯など、ゴミ出しが困難と思われる世帯に対する福祉のサービスの一つとして検討していただきたいと思います。

### A2 戸別収集について・・・今後の検討課題とします

ひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者世帯への戸別収集については、他市町村での取り組み状況について情報収集を図り、調査、研究をしながら、今後の検討課題とさせていただきたいと思います。



## 質問3、ドア・ツー・ドアの乗合タクシーについて

### Q1 ドア・ツー・ドアの乗合タクシーの必要性について・・・真剣な取り組みを

私は、議会で発言をするたびに、このドア・ツー・ドアの乗合タクシーの必要性について訴えてきました。今回も質問させていただきます。デマンド交通システムというのはNTTが開発したシステムで、私が考えるのは鹿嶋方式で何回も提案させていただいています。コミュニティバスは、年間延べ5万人の方が利用されています。大変助かっている一方、一部の路線では平均乗車率が一日数人という路線があり、常々もったいないという市民からの声も寄せられています。運業者も大変な努力をしてくださっていることには感謝いたしますが、運業者への助成金が今年は1,800万円、来年は2,000万円になるとの予算書が出ています。一人一回乗るごとに400円を市が負担している計算になります。交通弱者は市内に大勢いるのも事実です。乗客数の少ない路線を別な方法で救済し、早急な公共交通体制の再構築の必要性を真剣に考え、前向きに検討していただきたいと思います。これからの市の方向性をお聞かせください。

### A1 検討に入っています

本市における市内の公共交通体系、これは南北18キロメートル、東西7キロメートルという市の形態の中で、民間業者によるコミバスの運行を初めとし、鹿島臨海鉄道や路線バス、タクシーなどによって地域住民の方々の日常の足が確保されております。コミバスを利用できない交通不便者対策として、ドア・ツー・ドアの乗合タクシーの御提案でございますが、現在、対象者や地域の特性などから、デマンド交通システムだけにとらわれるということではなくて、どのような公共交通手段が適当であるのか検討に入っております。

## あなたの声を大切に！

何時でも、何処でも私に声をかけてください。  
みなさまの“声”をお待ちいたしております。



ブログも覗いてみてください。

小池みよ子の思い

検索

<http://plaza.rakuten.co.jp/hatigata/>

皆さまのご意見もお気軽にお寄せくださいませ。

## 陸前高田市を視察に行ってみました。



震災での津波により大きな被害を受けた市庁舎。

瓦礫の放射線量測定の様子。